

新型コロナに負けない！

活動は無理のない範囲で

日に日に暖かくなり、新緑の季節を迎えようとしています。会員の皆様におかれましては元気でお過ごしのことと思います。

さて、日本列島および世界中に新型コロナウイルスの嵐が吹き荒れ、北見市およびオホーツク管内でも多くの発生があり、2月28日には北海道知事の緊急事態宣言も出されました。



こうしたことを受けて、当会の行事等についても、冬の自然観察会「サロマ湖畔」(3月1日)、第13回総会(3月17日)を中止の判断をさせていただきました。

なお、総会議案に関する意見・質問、活動全般に関する要望等について事務局に寄せられたものはなく、議案については承認されたものとして取り扱いさせていただきます。

新型コロナウイルス感染については、首都圏、関西を中心に全国的に激増し、4月7日には緊急事態宣言が発せられ、北海道(オホーツク管内)についても依然として多くの発生が見られます。

こうしたことを踏まえ、会の活動については、当面、常呂川森林ふれあい推進センターとも相談しながら、無理のない範囲で進めざるを得ないと考えており、会員の皆様のご理解をお願いします。

自然に学び隊 「サロマ湖畔遊歩道」

クマゲラもいた!

大木がいっぱい!

2月20日(木)、サロマ湖畔遊歩道で参加者6名と常呂川FC3名により、冬の自然観察会の下見を兼ね自然に学び隊活動を行いました。(当初予定は17日でしたが、悪天候のため変更)

道の駅サロマ湖から国道を徒歩で約1.5km、スノーシューを履いて遊歩道に入りました。



新雪から間もなく(当日も雪模様)、木の枝には雪が載っているちょっと幻想的な景色の中を歩きます。

ミズナラやハルニレ、カツラなどの太い木が次々と目に入り、測ってみると80~100cm超(胸高直径)、推定樹齢は200年以上とされます。

誰かの「昔の人も海岸(湖岸)の木を残す必要性(防風・防潮等)を知っていたんだね」の声に納得。

途中、「キョ〜ン・キョ〜ン」という鳴き声と「コン・コン・コン」という大工のノミの音(?)が聞こえ、近寄ってみるとクマゲラ(日本最大のキツツキで天然記念物)に遭遇という嬉しいハプニングもあり、約2時間半の勉強会を終えました。



なお、参加者は次のとおりです。

【吉田、小山、小林、渋谷、小畑(公)、小島】

<小島>

なるほどクイズ

(答えは会報のどこかに…)



山歩き（登山）の楽しみの一つにお花畑（高山植物）があります。

山を登るにつれ、ダケカンバやエゾマツの高木が消え（森林限界）、ハイマツ帯になります。ハイマツ帯が突然ポツカリと開け、コマクサ、チングルマ、アオノツガザクラなどのお花畑が広がります。

ところで、ハイマツ林になる所とお花畑になる所の違いは何か、わかりますか？

写真で伝えよう！

森林

自然

「活動広め隊」では、森林・自然のすばらしさを一般市民へPRするための写真展（コンテストではありません）を計画しています。

時期 2020年11月17～24日

場所 NHKぎやらりー

自然、生き物を題材にした「私の好きな自然」**【2L版4枚1組】**を一般市民も含めて広く募集します。（募集は10月からの予定です）

当初は、4月予定で準備を進めていましたが、新型コロナウイルスの感染予防のため、延期したものです。

会員の皆さんの積極的な出展（これから撮影でも間に合います）をお願いします。

詳細・問い合わせは植村または渋谷まで。

<活動広め隊隊長 植村>



森の黄色

春は雪どけの沢、エゾノリュウキンカからスタート。夏は、キノコや花に彩られ、晩秋の黄葉で冬の眠りに。

北見市緑町 森林三郎

山菜の季節です

うど味噌はいかが！

<材料>

- ・ うど：茎・柄・葉
 - ★上部の柔らかい葉・芽はうど味噌にするのはもったいないので天ぷらにしましょう！
 - ★固い葉は取り除いてください
- ・ 味噌：うどの量の3分の1くらい（好みにより増減）
- ・ 砂糖（私は三温糖）、酒、みりん：適量
- ・ サラダ油

<作り方>

- ① うどの茎の皮を包丁でむきます。
（柄・葉はそのままでOK）
 - ② 茹でます。（酢味噌より長く茹でるので一緒に茹でて、酢味噌分を先に取り上げると良い）
 - ③ 30分～1時間くらい水につけてアク抜きします。
 - ④ 水分を切って「みじん切り」（できるだけ細かく）、切った後に水分が出るので少し絞ります。（絞りすぎると香りがなくなります）
 - ⑤ フライパンにサラダ油をひき、良く炒めます。
 - ⑥ うどの量の3分の1くらいの味噌を入れ炒め、砂糖、酒を入れて炒め、最後にみりんを少々入れます。（良く炒めると長持ちします）
- ★味噌・砂糖の量は、各家庭の味、好みで調整してください。冷凍すると長期保存も可能です。
- ★ごはんの友、おにぎりの具、お酒のあてに！
- ★サラダ油の代わりにごま油でも合いそうです。



<R・0>

うどは、ウコギ科、タラノキ属の多年草です。
新芽・若葉は天ぷら、茎は酢味噌など、皮はキンピラとほとんど捨てるところなく利用できます。
成長すると1.5mほどの高さになりますが、食用には向かず、材としての使用もできないので「うどの大木」と・・・。



5・6月に予定していた会の活動については中止とします。

○自主活動 (5~10月第2火曜日&必要に応じて)

2020年 5月12日 (火)

2020年 6月 9日 (火)

○森林散策会

2020年 6月予定

常呂川森林ふれあい推進センター (含む共催) の行事についても中止もしくは延期です。

○森の魅 (味) 力を感じよう! (主催: 常呂川 FC)

2020年 5月31日 (日) 予定

<中止>

○第1回常呂川森林づくり塾 (主催: 常呂川 FC)

2020年 6月 7日 (日) 予定

<延期> (7月以降で検討)

○オホーツクの森林づくり (共催: 常呂川 FC)

2020年 6月28日 (日) 予定

<延期> (7月以降で検討)

★ネイパル北見、北見市等の主催行事も中止となっています。



一、密閉空間
二、密集場所
三、密接場面

疫病退散
アマビコ

回避三項目

【なるほどクイズ】 答え



ハイマツと高山植物は同じような標高で生育しますが、ハイマツが生育するには ①積雪 ②夏の長さ が必要です。

強風で吹きさらしになるような地形では寒さ・乾燥に耐えることができません。

また、吹きだまりなどで遅くまで雪が残るところでは「夏」が短すぎるのです。

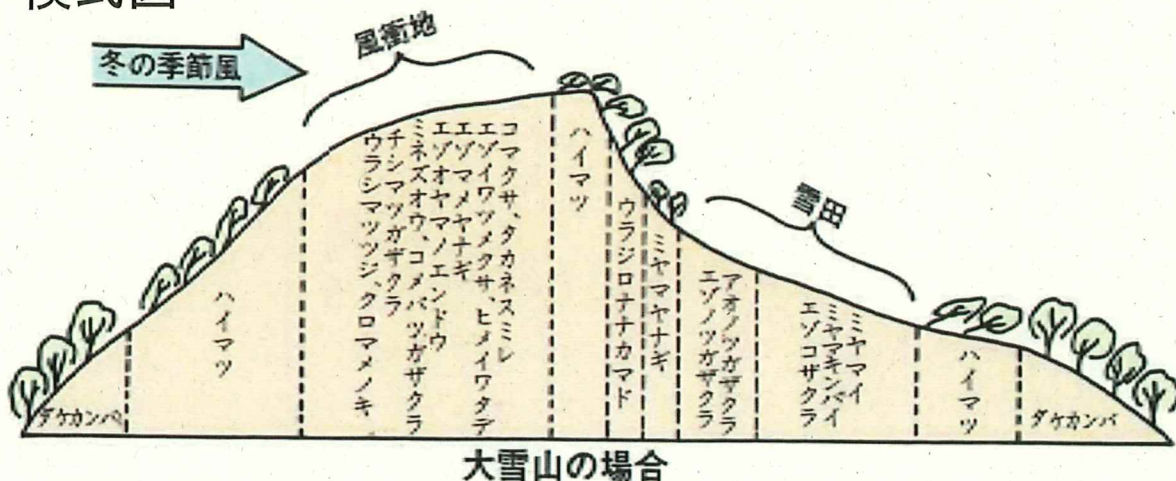
しかし、ハイマツがなければお花畑になるわけではなく、強風等で砂礫が動くところや雪解けの遅いところでは植物が生きていけないのでお花畑にはなりません。



厳しい環境に耐え・限られた区域の中で、生き抜いてきている貴重な高山植物です。

盗掘や踏み荒らしなどの被害から守らなければなりません。

模式図



高山植物は過酷な条件でも生育できる「強い植物」だと思っていましたが・・・他の植物との競争に勝てず、劣悪な条件の所に追いやられ、細々と生きながらえてきた植物だったのですね。

「目からウロコ」、「白内障の手術後 (?)」の思いです。

隊員募集しています！ (申込みは別紙で)

◆自然に学び隊	隊長	吉田昭	義
◆炭づくり隊	隊長	小島	愼
◆クラフト研究隊	隊長	渋谷朝	美
◆竹とんぼ隊	隊長	長谷川秋	夫
◆身体動かし隊	隊長	栄平	男
◆色いろ食べ隊	隊長	金村輝	雄
◆活動広め隊	隊長	植村之	彦
◆ロープ結び隊	隊長	角良	和

重複参加も OK です

お世話になりました。

常呂川森林ふれあい推進センターで行政専門員として、私たちの活動を支援していただいた大津孝則さんが、3月31日をもって任期満了（退職）となりました。

5年間、大変お世話になりました。

大変ありがとうございました。



木々に関するつぶやき

【キタコブシ】

高さ 20m、太さ 50 cm以上になるモクレン科の落葉広葉樹。

春一番に直径 12cm ほどの白い花を咲かせ、花・枝が良い匂いがすることから、アイヌ語でオマウクシニ（良い匂いの木）、オプケニ（放屁する木）と呼ばれる。

果実（集合果）がゴツゴツして握りこぶしを連想させることからコブシという説が有力。



会費納入のお願い

当会は皆様からの会費を基に活動を進めており、滞納者が増えると運営に支障を来すことが避けられません。

年会費を滞納し続けた場合は、継続の意思がなく退会と判断せざるを得ません。（退会される方は事務局へ一報願います）



心当たりの方はよろしくお願ひします。

— 納入方法 —

- ・ 総会および会が主催・参加するイベント時に納入
(会報等でご確認ください)
- ・ 常呂川森林ふれあい推進センター内の事務局に納入
- ・ 会の郵便局口座に振り込む（手数料がかかります）

振込先口座 19960-8073231

森林ボランティア「オホーツクの会」

お問い合わせ



北海道森林管理局
常呂川森林ふれあい推進センター内
森林ボランティア「オホーツクの会」事務局

〒090-8588 北海道北見市北斗町3丁目11-3
TEL 0157-23-2960 FAX 0157-26-2144